

2024年度（公財）加納美術振興財団事業計画（案）

2024.2月作成

- 2023年度より5年間、安来市より安来市加納美術館の管理者に指定され、協定に基づき美術館の管理運営と収蔵品の保持・保存業務を行うとともに、安来市をはじめ地域文化芸術の掘り起しと振興に努める。
- 加納莞菴のフィリピン戦犯釈放運動を通して確立されたキリノ大統領の「平和を希求するモラル」を、各種諸団体・個人と協力して世に広める活動をする。
 - 加納莞菴の外国との往復書簡を安来市文化財指定に向けた活動
 - ユネスコ「世界の記憶」登録再申請に向けた活動を安来市教育委員会、島根大学等の学術機関、フィリピン関係団体等の協力を得て進める。
 - 学校及び各種団体の要望に応え、講演活動を行う。
 - 「加納莞菴平和国際交流基金」の運用を継続させる。
 - 莞菴の想いを次世代へ繋いでいくために、児童・生徒の平和教育の場を提供していく。
- 当館の収蔵する陶磁器、日本画、油彩、墨彩画、水彩画、書、彫像、彫刻、漆器等の美術作品の展示、保存管理及びそれらに関する学術研究、講演会を実施する。
- 展示及び講演会などの宣伝・啓発広告は、安来市広報誌、チラシ、ポスター、美術館つうしん、新聞・放送への広報・広告、電柱広告、公式ウェブサイトやSNS（Facebook、Instagram、You Tube 他）などにより行う。
- 2024年度の企画展及びイベントについては次の通りである。

① 企画展 （日程は予定です）

○(3/19) ～ 5/19 こうげいやすぎ 壺（いち） 「布」と「木」編

○5/25 ～ 7/28 和歌山静子 絵本原画展

○8/3 ～ 10/6 古備前と城下町広瀬（仮）

○10/12 ～ 12/23 生誕 120 年加納莞菴展（仮）

○1/15 ～ 4/21 安来のアーティスト展（仮）

○常設展 『加納莞菴』展、『名碗』展 等

② イベント

- 各企画展で作家他による講演会や関連イベント（ワークショップ等）を計画。
- 「名碗を愉しむ会」の再開について、再考する。

6. 美術館のサービス向上『癒しとくつろぎのある美術館』を目指してー

- 来館者への茶菓、抹茶のふるまい。
- 音声・映像ガイドの有効活用を進める。
- アウトリーチ（出前授業、講演）を積極的に行う。
- 新型コロナウイルスなど感染症の拡大防止に引き続き十分に配慮する。

7. 館の運営

- 次世代を託せる学芸員の確保に努める。
- ボランティア、サポーターの支援によりイベントをスムーズに運営する。
- 各種ファンド、補助金制度などの利用を積極的に行う。

8. 地域振興事業の推進

- しまねミュージアム協議会、市内文化協会、文化事業団体、市内観光協会などと提携する。
- 市内文化施設や交流センターなどとの連携により、安来市全体の芸術、文化振興を図る。
- 教育委員会等と連携して児童生徒の美術、道徳、平和教育の支援を行う。「平和学習」を目的とする修学旅行や校外学習の訪問先として当館が選択されるように他地域に働きかける。
- 加納莞菴のフィリピン戦犯助命嘆願活動における往復書簡（約300通）の安来市文化財指定及びユネスコ「世界の記憶」登録再申請のための研究と準備を行う。
- 加納莞菴の平和思想がより多くの方に周知されるよう、積極的に地域へ働きかける。

9. 作品、建屋、設備機器等

- 作品台帳のデジタルデータベース化の構築と活用
- 作品修復（シミ、カビ、破れなど）→大型油彩作品の修復（3点程度）
- 庭園の手入れ（除虫、除草の徹底）

10. その他

- 戦犯助命嘆願関係書類の整理・保存とデジタルデータベース化を進める。
- ①について、学術研究を進めるため、大学などの研究機関および研究者等の協力を得る。